秋 田 県 内 中 小 企 業 景 況 調 査 結 果

（2021 年 1～3 月期）

秋田県商工会議所連合会

〈内容〉

Ⅰ．全産業の項目別DI値
Ⅱ．産業別DI値
Ⅲ．地域別DI値
Ⅳ．産業別設備投資
Ⅴ．地域別設備投資
Ⅵ．経営上の問題点
Ⅶ～Ⅹ．付帯調査
Ⅺ．総括表

※ 景気判断・DI値とは、「増加」・「好転」・「過剰」したとする企業割合から「減少」・「悪化」・「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。（▲：マイナス）

≪参考≫県内景況調査に対する各企業のコメント　一覧

〈回収状況〉

業　種	対象企業数	有効回答企業数
建設業	40	31　(77.5%)
製造業	40	27　(67.5%)
卸売業	40	27　(67.5%)
小売業	40	37　(92.5%)
サービス業	40	31　(77.5%)
合　計	200	153　(76.5%)

地　域	対象企業数	有効回答企業数
県　北	50	32　(64.0%)
県　央	75	64　(85.3%)
県　南	75	57　(76.0%)

Ⅰ．全産業の項目別DI値

1．業況

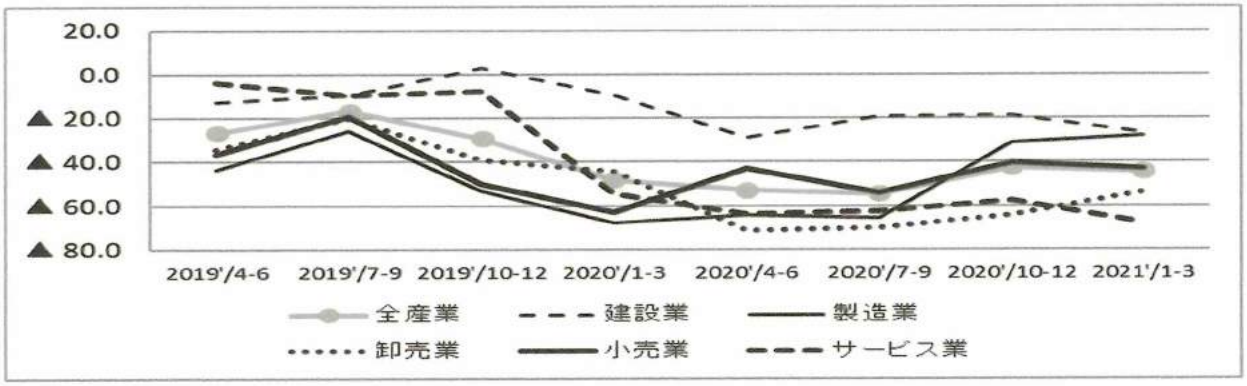
今期（1～3 月）の業況 DI 値は、全産業で▲44.3 と前期比でわずかながら悪化した。

産業別では、サービス業、建設業、小売業で悪化する一方、卸売業、製造業は改善した。

来期の見通し（4～6 月）は、全産業で▲32.9 と今期比で改善を見通している。

産業別では、小売業が横ばい、他の4業種は改善を見通している。特にサービス業、卸売業はそれぞれプラス 25.7 ポイント、プラス 20.6 ポイントの大幅な改善を見通している。

	前期(10-12月)		今期(1-3月)			
		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全産業	▲ 42.5	▲ 50.6	▲ 44.3	−1.8	▲ 32.9	11.4
建設業	▲ 18.8	▲ 37.5	▲ 26.7	−7.9	▲ 16.1	10.6
製造業	▲ 31.3	▲ 36.7	▲ 28.0	3.3	▲ 26.9	1.1
卸売業	▲ 64.5	▲ 64.5	▲ 53.9	10.6	▲ 33.3	20.6
小売業	▲ 40.7	▲ 54.5	▲ 43.3	−2.6	▲ 43.3	0.0
サービス業	▲ 57.6	▲ 59.4	▲ 67.7	−10.1	▲ 42.0	25.7



2．売上額・完成工事額

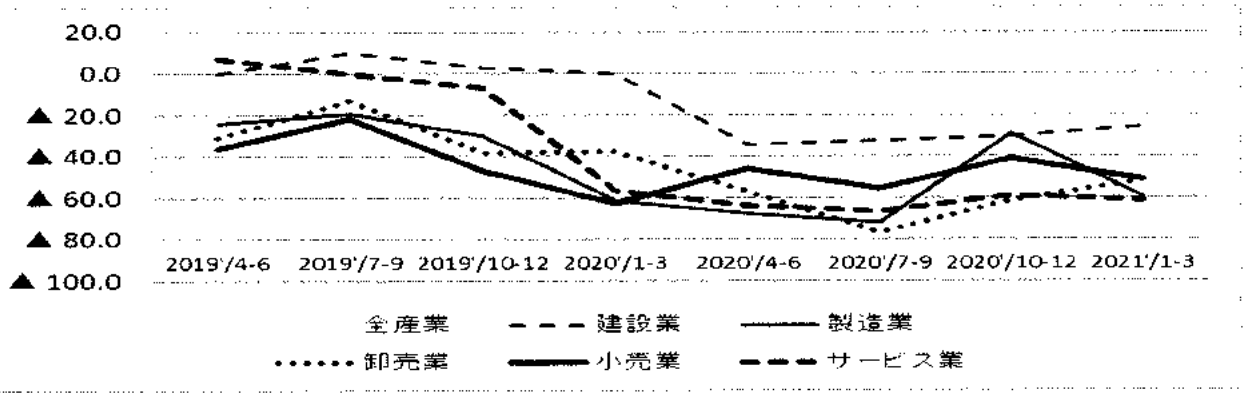
今期（1～3 月）の売上額・完成工事額 DI 値は、全産業で▲49.7 と前期比で悪化した。

産業別では、製造業、小売業、サービス業で悪化した。特に製造業はマイナス 30.3 ポイントと大幅に悪化した。

来期の見通し（4～6 月）は、全産業で▲27.5 と今期比で大幅な改善を見通している。

産業別では、全業種で改善を見通している。特に製造業はプラス 55.6 ポイントの大幅な改善を見通している。

	前期(10-12月)		今期(1-3月)			
		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全産業	▲ 44.2	▲ 54.0	▲ 49.7	−5.5	▲ 27.5	22.2
建設業	▲ 30.3	▲ 30.3	▲ 25.8	4.5	▲ 19.4	6.4
製造業	▲ 29.0	▲ 54.8	▲ 59.3	−30.3	▲ 3.7	55.6
卸売業	▲ 61.3	▲ 67.8	▲ 51.9	9.4	▲ 29.6	22.3
小売業	▲ 41.2	▲ 73.5	▲ 51.4	−10.2	▲ 46.0	5.4
サービス業	▲ 58.8	▲ 44.1	▲ 61.2	−2.4	▲ 32.2	29.0



3. 資金繰り

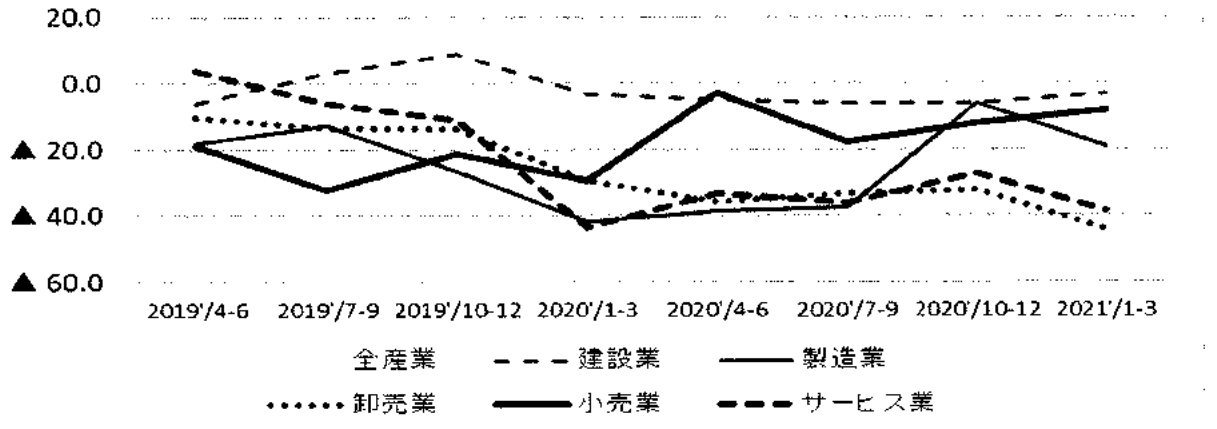
今期(1～3 月)の資金繰り DI 値は、全産業で▲21.8 と前期比で悪化した。

産業別では、製造業、卸売業、サービス業が悪化する一方、小売業、建設業は改善した。

来期の見通し(4～6 月)は、全産業で▲17.8 と今期比で改善を見通している。

産業別では、製造業、卸売業、建設業、サービス業で改善を見通している。特に建設業は今期のマイナスからプラスに転じる見通しをしている。一方、小売業は悪化を見通している。

	前期(10-12月)		今期(1-3月)			
		来期見通(1～3月)		前期比	来期見通	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全産業	▲ 16.8	▲ 26.8	▲ 21.8	-5.0	▲ 17.8	4.0
建設業	▲ 6.3	▲ 9.3	▲ 3.2	3.1	3.2	6.4
製造業	▲ 6.2	▲ 25.8	▲ 19.2	-13.0	▲ 7.7	11.5
卸売業	▲ 32.3	▲ 35.5	▲ 44.4	-12.1	▲ 37.0	7.4
小売業	▲ 12.1	▲ 27.3	▲ 8.3	3.8	▲ 16.7	-8.4
サービス業	▲ 27.3	▲ 36.3	▲ 38.7	-11.4	▲ 32.3	6.4



4. 受注残(未消化工事高)

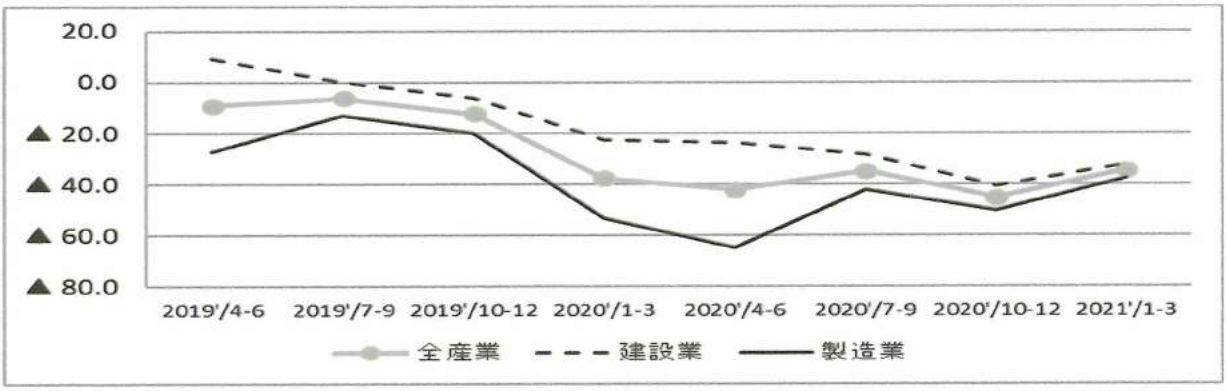
今期(1～3 月)の受注残 DI 値は、全産業で▲34.5 と前期比で改善した。

産業別では、製造業、建設業ともに改善した。

来期の見通し(4～6 月)は、全産業で▲17.8 と今期比で大幅な改善を見通している。

産業別では、製造業、建設業ともに改善を見通している。特に製造業はプラス 21.5 ポイントの大幅な改善を見通している。

	前期(10-12月)		今期(1-3月)			
		来期見通(1～3月)		前期比	来期見通	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全産業	▲ 45.3	▲ 46.7	▲ 34.5	10.8	▲ 17.8	16.7
建設業	▲ 40.6	▲ 43.7	▲ 32.2	8.4	▲ 19.3	12.9
製造業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 37.5	12.5	▲ 16.0	21.5



5. 採算(経常利益)

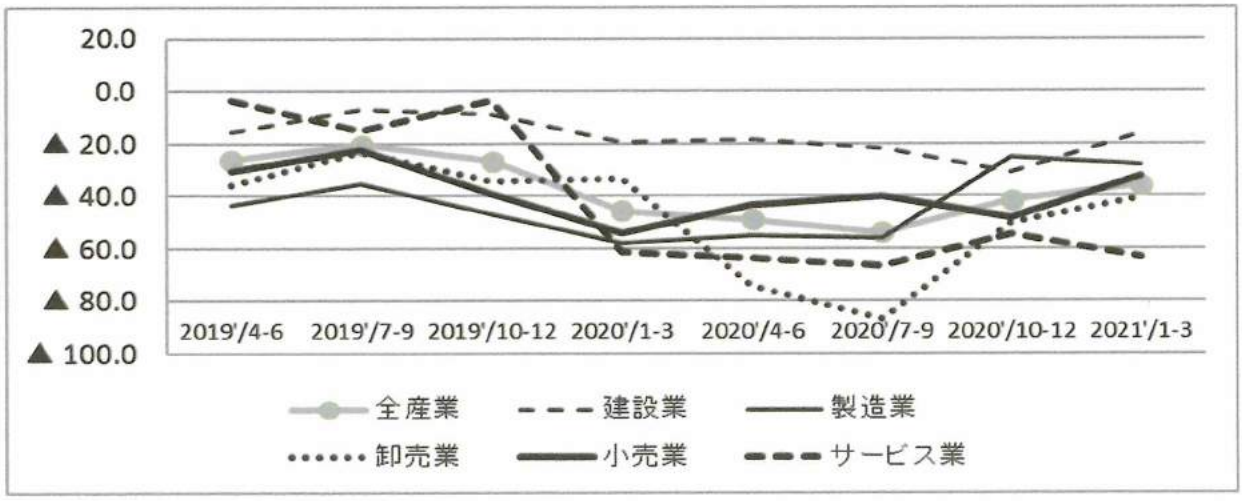
今期(1～3 月)の採算 DI 値は、全産業で▲36.0 と前期比で改善した。

産業別では、小売業、建設業、卸売業で改善する一方、サービス業、製造業は悪化した。

来期の見通し(4～6 月)は、全産業で▲34.5 と今期比でわずかながら改善を見通している。

産業別では、サービス業、卸売業、製造業で改善を見通す一方、小売業、建設業は悪化を見通している。

	前期(10-12月)		今期(1-3月)			
		来期見通(1～3月)		前期比	来期見通(4～6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全産業	▲ 41.8	▲ 45.6	▲ 36.0	5.8	▲ 34.5	1.5
建設業	▲ 31.2	▲ 28.1	▲ 16.1	15.1	▲ 25.8	−9.7
製造業	▲ 25.0	▲ 41.9	▲ 28.0	−3.0	▲ 19.2	8.8
卸売業	▲ 50.0	▲ 56.7	▲ 40.8	9.2	▲ 29.6	11.2
小売業	▲ 48.5	▲ 58.8	▲ 32.4	16.1	▲ 50.0	−17.6
サービス業	▲ 54.6	▲ 42.4	▲ 63.3	−8.7	▲ 42.0	21.3



6. 従業員(含む臨時)

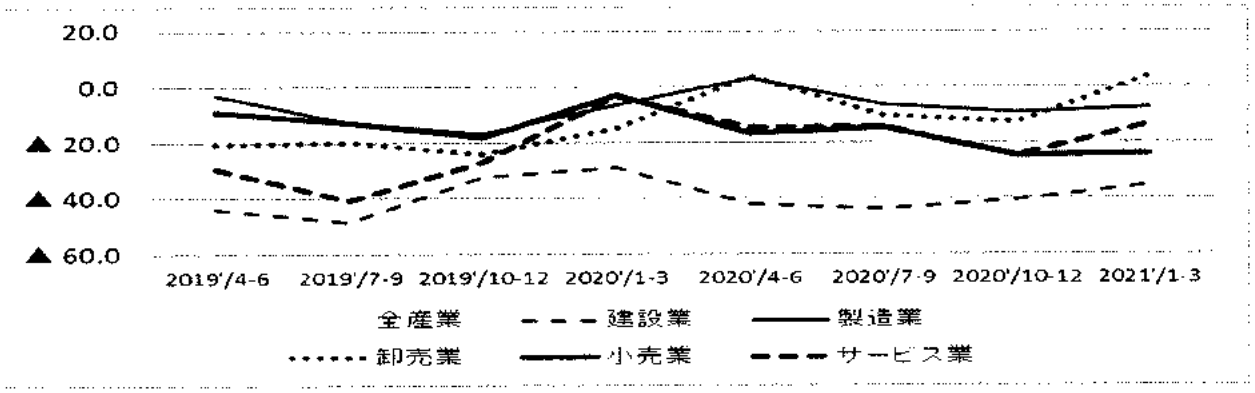
今期(1～3 月)の従業員 DI 値は、全産業で▲16.6 と前期比で不足感を縮小した。

産業別では、全業種で不足感を縮小した。特に卸売業は前期のマイナスからプラスに転じた。

来期の見通し(4～6 月)は、全産業で▲17.9 と今期比でわずかながら不足感の拡大を見通している。

産業別では、卸売業が横ばい、サービス業、製造業、建設業で不足感の拡大を見通す一方、小売業は不足感の縮小を見通している。

	前期(10-12月)		今期(1-3月)			
		来期見通(1～3月)		前期比	来期見通	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全産業	▲ 22.6	▲ 16.4	▲ 16.6	6.0	▲ 17.9	−1.3
建設業	▲ 40.6	▲ 28.1	▲ 35.5	5.1	▲ 38.7	−3.2
製造業	▲ 9.3	▲ 6.4	▲ 7.7	1.6	▲ 11.5	−3.8
卸売業	▲ 12.9	▲ 3.2	3.7	16.6	3.7	0.0
小売業	▲ 25.0	▲ 21.2	▲ 24.3	0.7	▲ 16.2	8.1
サービス業	▲ 25.0	▲ 21.8	▲ 13.4	11.6	▲ 23.3	−9.9



Ⅱ. 産業別DI値

1. 建設業

今期(1～3 月)のDI値は、業況が▲26.7 と前期比で悪化した。

項目別では、すべての項目で改善した。従業員は不足感を縮小した。

企業からは、「完成工事または次年度に完成が延びた工事が多い」【一般土木建築工事業】とのコメントがある一方、「暴風雪、災害復旧工事が増加した」【一般電気工事業】とのコメントがあった。

来期の見通し(4～6 月)は、業況が▲16.1 と今期比で改善を見通している。

項目別では、受注残、完成工事額、資金繰りで悪化を見通している。特に資金繰りは今期のマイナスからプラスに転じる見通しをしている。一方、採算は悪化を見通している。従業員は不足感の拡大を見通している。

企業からは、「今期から延びる工事と新規工事が出て忙しくなる見込」【一般土木建築工事業】とのコメントがある一方、「受注する工事があっても完成する工事はないと思う」【土木工事業】とのコメントがあった。

	前期(10−12月)		今期(1−3月)			
		来期見通(1～3月)		前期比	来期見通(4～6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
業況	▲ 18.8	▲ 37.5	▲ 26.7	−7.9	▲ 16.1	10.6
完成工事額	▲ 30.3	▲ 30.3	▲ 25.8	4.5	▲ 19.4	6.4
資金繰り	▲ 6.3	▲ 9.3	▲ 3.2	3.1	3.2	6.4
受注残	▲ 40.6	▲ 43.7	▲ 32.2	8.4	▲ 19.3	12.9
採算(経常利益)	▲ 31.2	▲ 28.1	▲ 16.1	15.1	▲ 25.8	−9.7
従業員(含む臨時)	▲ 40.6	▲ 28.1	▲ 35.5	5.1	▲ 38.7	−3.2

2. 製造業

今期(1～3 月)のDI値は、業況が▲28.0 と前期比で改善した。

項目別では、受注残が改善する一方、売上額、資金繰り、採算は悪化した。特に売上額はマイナス 30.3 ポイントと大幅に悪化し、厳しい状況となった。従業員はわずかながら不足感を縮小した。

企業からは、「家飲みが増加し、売上増加」【清酒製造業】のコメントがある一方、「首都圏の緊急事態宣言の影響により、県外営業ができない状況が長引いて受注の大幅な減少が続いている」【印刷業】とのコメントがあった。

来期の見通し(4～6 月)は、業況が▲26.9 と今期比でわずかながら改善を見通している。

項目別では、すべての項目で改善を見通している。特に売上額はプラス 55.6 ポイントと大幅な改善を見通している。従業員は不足感の拡大を見通している。

企業からは「歓迎会、お花見、連休前の流通在庫の積み増しなどで荷動きが活発になる時期であるが、新型コロナウイルス接種も一部に留まり、状況の大きな改善は期待できない」【清酒製造業】、「上半期は売上、受注量ともに伸びないとの情報が入っている【ゼネコン、各メーカー】、「原材料価格も上昇してきており、不安がある」【金属製品製造業】とのコメントがあった。

	前期(10−12月)		今期(1−3月)			
		来期見通(1～3月)		前期比	来期見通(4～6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
業況	▲ 31.3	▲ 36.7	▲ 28.0	3.3	▲ 26.9	1.1
売上額	▲ 29.0	▲ 54.8	▲ 59.3	−30.3	▲ 3.7	55.6
資金繰り	▲ 6.2	▲ 25.8	▲ 19.2	−13.0	▲ 7.7	11.5
受注残	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 37.5	12.5	▲ 16.0	21.5
採算(経常利益)	▲ 25.0	▲ 41.9	▲ 28.0	−3.0	▲ 19.2	8.8
従業員(含む臨時)	▲ 9.3	▲ 6.4	▲ 7.7	1.6	▲ 11.5	−3.8

3. 卸売業

今期(1～3 月)のDI値は、業況が▲53.9 と前期比で改善したが、厳しい状況が続いている。

項目別では、売上額、採算が改善する一方、資金繰りは悪化した。従業員は前期の不足から過剰に転じた。

企業からは、「今期は雪の被害で販売店からの注文が多く、助かった」【家庭用電気機械器具卸売業】とのコメントがある一方、「コロナの影響のほか、1～2 月の悪天候により小売店、道の駅、温泉等の売上が昨年より2、3割悪化」【その他の卸売業】とのコメントがあった。

来期の見通し(4～6 月)は、業況が▲33.3 と今期比で大幅な改善を見通している。

項目別では、すべての項目で改善を見通している。特に売上額はプラス 22.3 ポイントと大幅な改善を見通している。従業員は横ばいを見通している。

企業からは、「昨年の4～6月がコロナで悪すぎたので、昨年よりはマシ。一昨年と比べると厳しい」【織物卸売業】とのコメントがある一方、「配合飼料の高騰が予想され、さらに採算が悪化するものと思われる」【鶏卵卸】とのコメントがあった。

	前期(10−12月)		今期(1−3月)			
		来期見通(1〜3月)		前期比	来期見通(4〜6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
業況	▲ 64.5	▲ 64.5	▲ 53.9	10.6	▲ 33.3	20.6
売上額	▲ 61.3	▲ 67.8	▲ 51.9	9.4	▲ 29.6	22.3
資金繰り	▲ 32.3	▲ 35.5	▲ 44.4	−12.1	▲ 37.0	7.4
採算(経常利益)	▲ 50.0	▲ 56.7	▲ 40.8	9.2	▲ 29.6	11.2
従業員(含む臨時)	▲ 12.9	▲ 3.2	3.7	16.6	3.7	0.0

4. 小売業

今期(1〜3 月)のDI値は、業況が▲43.3 と前期比でわずかながら悪化した。

項目別では、売上額が悪化する一方、採算、資金繰りは改善した。従業員はわずかながら不足感を縮小した。

企業からは、「大雪、コロナの影響で飲食店への酒類、おみやげ品の売上が減少。昨年より一層厳しくなっている」【酒類・食料品小売】とのコメントがある一方、「県内では新型コロナウイルスの影響がほとんど無く、メーカーの商品改良等が相次いでいることから市場が活発化傾向にあり、商品の出荷遅れや販売価格の低下はあるものの、増収・増益となった」【自動車小売業】とのコメントがあった。

来期の見通し(4〜6 月)は、業況は今期と同数値を見通している。

項目別では、売上額が改善を見通す一方、採算、資金繰りは悪化を見通している。従業員は不足感の縮小を見通している。

企業からは、「全国的に新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状態であるが、メーカーの商品改良等でコンパクトカーを中心に市場が活発化しているため、前年同期の売上を上回る見込。ただし一部商品でメーカーの生産が逼迫していることに加え、半導体不足の影響から更に出荷遅れが予想される。」【自動車小売業】とのコメントがある一方、「6月くらいまでは依然としてコロナの影響が大きいと予測される」【酒類・食料品小売】とのコメントがあった。

	前期(10−12月)		今期(1−3月)			
		来期見通(1〜3月)		前期比	来期見通(4〜6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
業況	▲ 40.7	▲ 54.5	▲ 43.3	−2.6	▲ 43.3	0.0
売上額	▲ 41.2	▲ 73.5	▲ 51.4	−10.2	▲ 46.0	5.4
資金繰り	▲ 12.1	▲ 27.3	▲ 8.3	3.8	▲ 16.7	−8.4
採算(経常利益)	▲ 48.5	▲ 58.8	▲ 32.4	16.1	▲ 50.0	−17.6
従業員(含む臨時)	▲ 25.0	▲ 21.2	▲ 24.3	0.7	▲ 16.2	8.1

5. サービス業

今期(1〜3 月)のDI値は、業況が▲67.7 と前期比で悪化し、厳しい状況が続いている。

項目別では、すべての項目で悪化した。従業員は不足感を縮小した。

企業からは、「新型コロナ及び大雪の影響により、売上が減少。3月末決算は過去 30 年間で最大の赤字を計上する見込」【運輸業】とのコメントがある一方、「商品ごとの差が大きかった。今までは各商品で同じくらいの販売だったが、商品により売れるものと売れないものがあった。災害が多くて売上が伸びたものがあった」【保険代理業】とのコメントがあった。

来期の見通し(4〜6 月)は、業況は▲42.0 と今期比でプラス 25.7 ポイントの大幅な改善を見通している。

項目別では、すべての項目で改善を見通している。特に売上額、採算はそれぞれプラス 29.0 ポイント、プラス 21.3 ポイントの大幅な改善を見通している。従業員は不足感の拡大を見通している。

企業からは、「4月からの官公庁の入札物件に大いに価格の上昇を期待している」【ビルメンテナンス業】とのコメントがある一方、「コロナが落ち着くまで好転する見込がない」【写真館】とのコメントがあった。

	前期(10−12月)		今期(1−3月)			
		来期見通(1〜3月)		前期比	来期見通(4〜6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
業況	▲ 57.6	▲ 59.4	▲ 67.7	−10.1	▲ 42.0	25.7
売上額	▲ 58.8	▲ 44.1	▲ 61.2	−2.4	▲ 32.2	29.0
資金繰り	▲ 27.3	▲ 36.3	▲ 38.7	−11.4	▲ 32.3	6.4
採算(経常利益)	▲ 54.6	▲ 42.4	▲ 63.3	−8.7	▲ 42.0	21.3
従業員(含む臨時)	▲ 25.0	▲ 21.8	▲ 13.4	11.6	▲ 23.3	−9.9

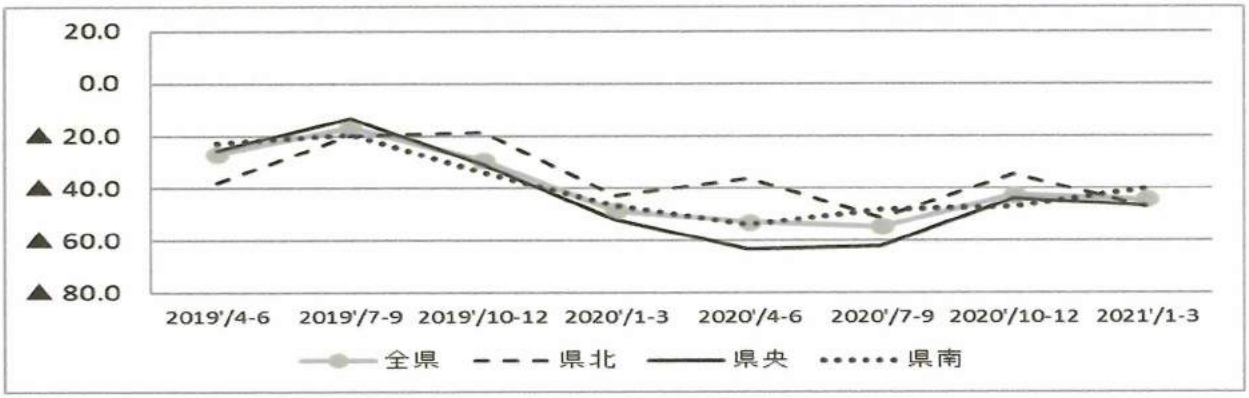
Ⅲ. 地域別DI値

1. 業況

今期(1〜3 月)のDI値は、前期比で県北、県央が悪化する一方、県南は改善した。

来期の見通し(4〜6 月)は、今期比で全域の改善を見通している。

	前期(10−12月)		今期(1−3月)			
		来期見通(1〜3月)		前期比	来期見通(4〜6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
全 県	▲ 42.5	▲ 50.6	▲ 44.3	−1.8	▲ 32.9	11.4
県 北	▲ 34.8	▲ 52.2	▲ 46.9	−12.1	▲ 40.7	6.2
県 央	▲ 43.8	▲ 49.2	▲ 46.7	−2.9	▲ 31.8	14.9
県 南	▲ 47.2	▲ 50.9	▲ 40.0	7.2	▲ 29.8	10.2

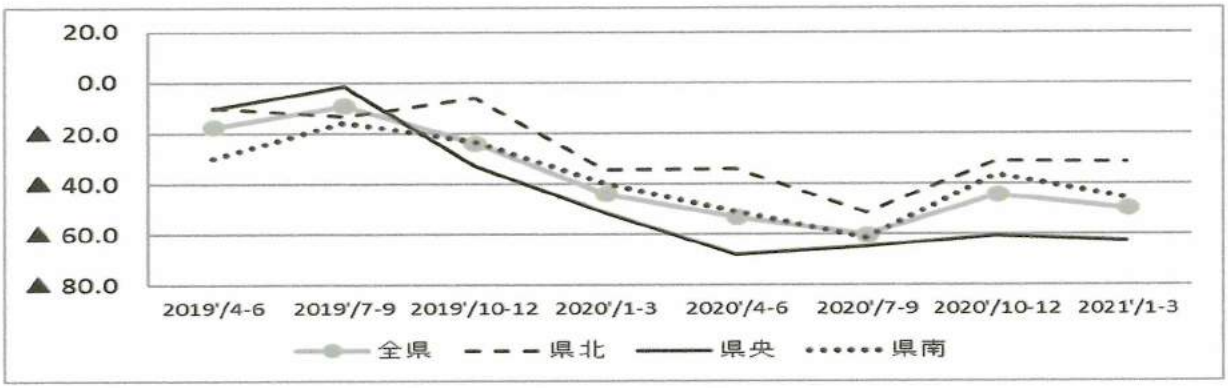


2. 売上額・完成工事額

今期(1〜3 月)のDI値は、前期比で全域が悪化した。

来期見通し(4〜6 月)は、今期比で県央、県南がそれぞれプラス 37.5 ポイント、プラス 21.0 ポイントの大幅な改善を見通す一方、県北は悪化を見通している。

	前期(10−12月)		今期(1−3月)			
		来期見通(1〜3月)		前期比	来期見通(4〜6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
全 県	▲ 44.2	▲ 54.0	▲ 49.7	−5.5	▲ 27.5	22.2
県 北	▲ 31.1	▲ 48.9	▲ 31.2	−0.1	▲ 37.5	−6.3
県 央	▲ 60.3	▲ 55.6	▲ 62.5	−2.2	▲ 25.0	37.5
県 南	▲ 36.4	▲ 56.4	▲ 45.6	−9.2	▲ 24.6	21.0

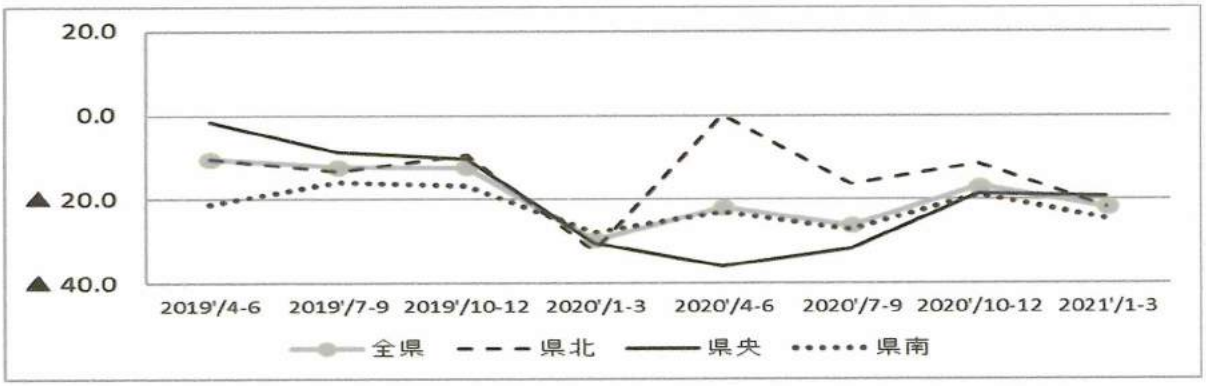


3. 資金繰り

今期(1～3 月)のDI値は、前期比で全域が悪化した。

来期見通し(4～6 月)は、今期比で全域の改善を見通している。

	前期(10-12月)		今期(1-3月)			
		来期見通(1～3月)		前期比	来期見通(4～6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全 県	▲ 16.8	▲ 26.8	▲ 21.8	−5.0	▲ 17.8	4.0
県 北	▲ 11.4	▲ 24.4	▲ 21.8	−10.4	▲ 15.6	6.2
県 央	▲ 18.7	▲ 22.5	▲ 19.4	−0.7	▲ 16.1	3.3
県 南	▲ 18.8	▲ 33.9	▲ 24.5	−5.7	▲ 21.0	3.5

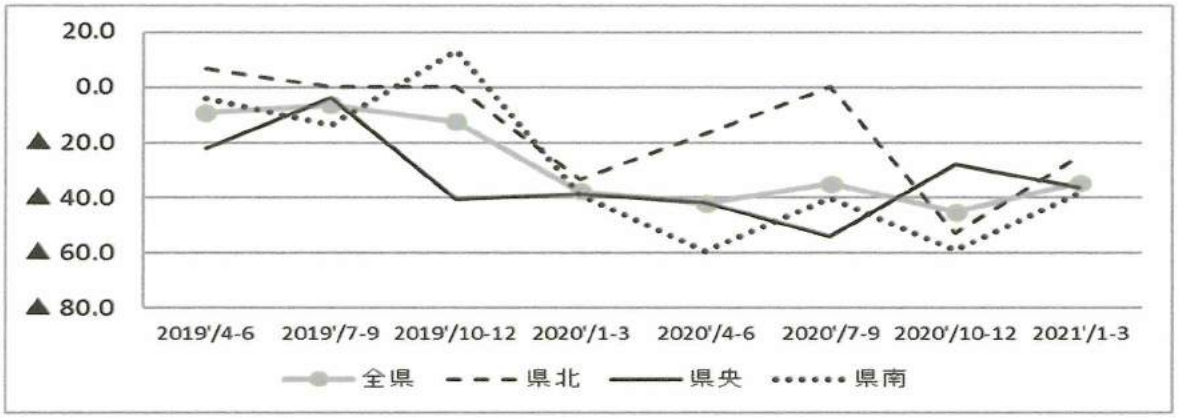


4. 受注残(未消化工事高)

今期(1～3 月)のDI値は、前期比で、県北、県南でそれぞれプラス 27.9 ポイント、プラス 21.0 ポイントと大幅に改善する一方、県央は悪化した。

来期見通し(4～6 月)は、今期比で全域の改善を見通している。特に県南はプラス 23.8 ポイントの大幅な改善を見通している。

	前期(10-12月)		今期(1-3月)			
		来期見通(1～3月)		前期比	来期見通(4～6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全 県	▲ 45.3	▲ 46.7	▲ 34.5	10.8	▲ 17.8	16.7
県 北	▲ 52.9	▲ 41.2	▲ 25.0	27.9	▲ 16.6	8.4
県 央	▲ 28.0	▲ 33.3	▲ 36.4	−8.4	▲ 21.8	14.6
県 南	▲ 59.1	▲ 66.7	▲ 38.1	21.0	▲ 14.3	23.8

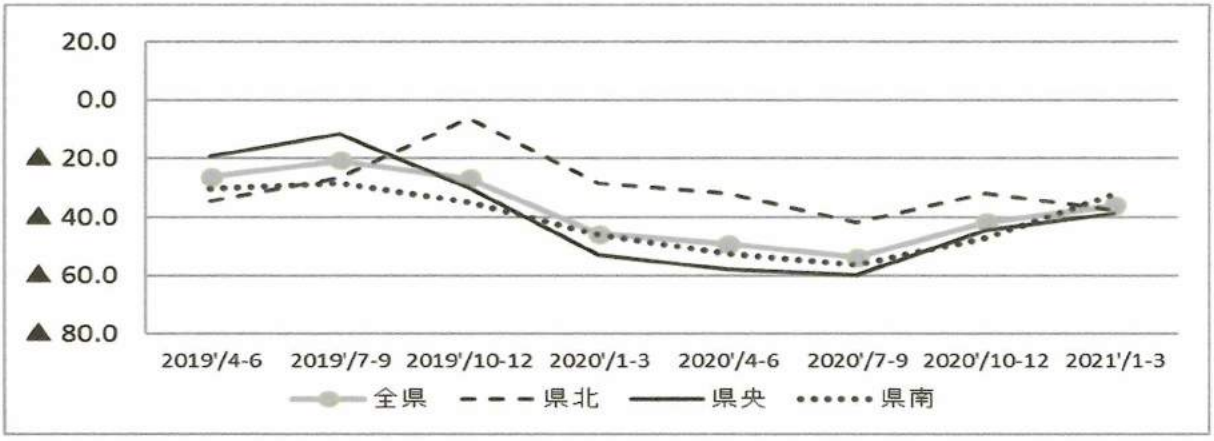


5. 採算(経常利益)

今期(1～3 月)のDI値は、前期比で県南、県央が改善する一方、県北は悪化した。

来期見通し(4～6 月)は、今期比で県北が横ばい、県央は改善を見通す一方、県南はわずかながら悪化を見通している。

	前期(10-12月)		今期(1-3月)			
		来期見通(1～3月)		前期比	来期見通(4～6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全　県	▲ 41.8	▲ 45.6	▲ 36.0	5.8	▲ 34.5	1.5
県　北	▲ 31.8	▲ 42.3	▲ 37.5	−5.7	▲ 37.5	0.0
県　央	▲ 44.4	▲ 40.3	▲ 38.7	5.7	▲ 33.8	4.9
県　南	▲ 47.1	▲ 54.7	▲ 32.1	15.0	▲ 33.4	−1.3

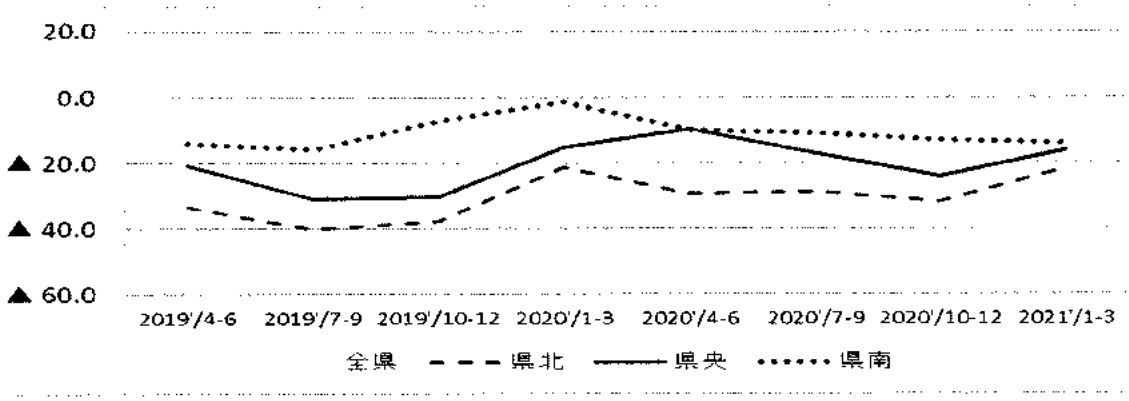


6. 従業員(含む臨時)

今期(1～3 月)のDI値は、前期比で県北、県央が不足感を縮小する一方、県南はわずかながら不足感を拡大した。

来期見通し(4～6 月)は、今期比で県北が横ばい、県央が不足感の拡大を見通す一方、県南はわずかながら不足感の縮小を見通している。

	前期(10-12月)		今期(1-3月)			
		来期見通(1～3月)		前期比	来期見通(4～6月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全　県	▲ 22.6	▲ 16.4	▲ 16.6	6.0	▲ 17.9	−1.3
県　北	▲ 31.8	▲ 22.2	▲ 21.8	10.0	▲ 21.8	0.0
県　央	▲ 24.2	▲ 13.1	▲ 16.1	8.1	▲ 20.9	−4.8
県　南	▲ 13.2	▲ 15.1	▲ 14.0	−0.8	▲ 12.3	1.7



Ⅳ. 産業別設備投資

全産業における今期(1～3 月)の設備投資については、「実施した」とする企業は 47 件で、前期比で 9 件減少した。

産業別では、「実施した」とする中で最も多かったのは、サービス業(12 件)、次いで建設業(11 件)、小売業(10 件)の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」(18 件)、次いで「OA 機器」(15 件)、「建物・工場・店舗」(12 件)の順となっている。

来期(4～6 月)の計画では、全産業で「計画している」としたのは 39 件で、今期比で 8 件減少している。

産業別では、「計画している」とした中で最も多かったのは、建設業(9 件)、次いで製造業、サービス業(ともに 8 件)、卸売業、小売業(ともに 7 件)の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」(13 件)、「付帯施設」(10 件)、「OA 機器」(9 件)の順となっている。

設備投資状況　　(件数)

	前期(10～12月)				今期(1～3月)					
			来期の計画(1-3月)					来期の計画(4-6月)		
	実施した (A)	実施しない	計画している (B)	計画していない	実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
全産業	56	108	40	124	47	106	▲ 9	39	114	▲ 8
建設業	12	21	6	27	11	20	▲ 1	9	22	▲ 2
製造業	12	20	11	21	7	20	▲ 5	8	19	1
卸売業	12	19	7	24	7	20	▲ 5	7	20	0
小売業	8	26	8	26	10	27	2	7	30	▲ 3
サービス業	12	22	8	26	12	19	0	8	23	▲ 4

設備内容(複数回答)　　(件数)

	全産業		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
②建物・工場・店舗	12	8	1	1	2	1	2	2	3	2	4	2
③機械・設備・倉庫	11	8	3	0	4	4	1	1	1	3	2	0
④車両・運搬具	18	13	6	5	2	1	5	1	2	2	3	4
⑤付帯施設	3	10	0	0	2	4	0	1	0	2	1	3
⑥OA機器	15	9	4	3	2	2	2	2	2	0	5	2
⑦福利厚生施設	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
⑧その他	2	2	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0
合　計	63	53	15	11	12	12	10	8	10	9	16	13

Ⅴ. 地域別設備投資

今期(1～3 月)の設備投資について、「実施した」企業は、前期比で全域が減少した。

設備投資で最も多いのは、県北で「建物・工場・店舗」「機械・設備・倉庫」「車両・運搬異」(ともに 4 件)、県央で「車両・運搬具」(11 件)、県南で「OA 機器」(7 件)となった。

来期(4～6 月)の設備投資について、「計画している」企業は、今期比で全域が減少を見通している。

「計画している」企業の設備内容で最も多かったのは、県北で「建物・工場・店舗」「車両・運搬具」(ともに 4 件)、県央で「車両・運搬具」(7 件)、県南で「建物・工場・店舗」「OA 機器」(ともに 3 件)となっている。

設備投資状況　　(件数)

	前期(10～12月)				今期(1～3月)					
			来期の計画(1-3月)					来期の計画(4-6月)		
	実施した (A)	実施しない	計画している (B)	計画していない	実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
全　体	56	108	40	124	47	106	▲ 9	39	114	▲ 8
県　北	16	29	7	38	11	21	▲ 5	10	22	▲ 1
県　央	25	39	21	43	23	41	▲ 2	20	44	▲ 3
県　南	15	40	12	43	13	44	▲ 2	9	48	▲ 4

設備内容(複数回答)　　(件数)

	全県		県北		県央		県南	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	2	2	2	0	1	1	0	1
②建物・工場・店舗	12	8	4	4	6	2	3	3
③機械・設備・倉庫	11	8	4	2	5	5	3	1
④車両・運搬異	18	13	4	4	11	7	3	2
⑤付帯施設	3	10	0	2	2	6	1	2
⑥OA機器	15	9	3	0	4	6	7	3
⑦福利厚生施設	0	1	0	0	0	0	0	0
⑧その他	2	2	0	1	1	1	1	0
合　計	63	53	17	13	30	28	18	12

Ⅵ. 経営上の問題点

産業別における「経営上の問題点」は、製造業、卸売業、小売業、サービス業が「需要の停滞」を第1位に挙げている。建設業は「官公需要の停滞」を第1位に挙げている。

2位以下の項目では、建設業が「民間需要の停滞」「熟練技術者の確保難」、製造業が「従業員の確保難」「生産設備の不足・老朽化」、卸売業が「仕入単価の上昇」、小売業が「消費者ニーズの変化への対応」、サービス業が「利用者ニーズの変化への対応」「人件費の増加」を問題点として挙げており、需要の停滞による売上の伸び悩みや人材不足、生産設備の不足・老朽化、仕入単価の上昇、消費者・利用者ニーズの変化への対応、人件費の増加等が経営課題となっていることがうかがえる。

	1位		2位		3位	
建設業	官公需要の停滞		民間需要の停滞		熟練技術者の確保難	
	32.1%	9件	23.1%	6件	20.0%	5件
製造業	需要の停滞		従業員の確保難		生産設備の不足・老朽化	
	36.0%	9件	23.8%	5件	26.7%	4件
卸売業	需要の停滞		仕入単価の上昇		仕入単価の上昇	
	62.5%	15件	26.1%	6件	19.0%	4件
小売業	需要の停滞		消費者ニーズの変化への対応		消費者ニーズの変化への対応	
	27.8%	10件	18.2%	6件	25.9%	7件
サービス業	需要の停滞		利用者ニーズの変化への対応		人件費の増加	
	39.3%	11件	29.2%	7件	19.0%	4件

※ %は1位、2位、3位それぞれの回答数(＝100%)の割合を示したもの。

参考:1～3位を累計した場合

	1位		2位		3位	
建設業	官公需要の停滞		熟練技術者の確保難		従業員の確保難	
	18.8%	15件	17.5%	14件	15.0%	12件
製造業	需要の停滞		製品ニーズの変化への対応		生産設備の不足・老朽化 原材料価格の上昇 従業員の確保難	
	21.3%	13件	14.8%	9件	11.5%	7件
卸売業	需要の停滞		仕入単価の上昇		販売単価の低下・上昇難	
	26.5%	18件	16.2%	11件	11.8%	8件
小売業	需要の停滞		消費者ニーズの変化への対応		人件費以外の経費の増加 販売単価の低下・上昇難 仕入単価の上昇	
	19.8%	19件	17.7%	17件	8.3%	8件
サービス業	需要の停滞		利用者ニーズの変化への対応		従業員の確保難	
	25.0%	18件	19.4%	14件	12.5%	9件

※ %は1～3位までの総回答数(＝100%)の割合を示したもの。

【付帯調査】
◎新型コロナウイルス感染拡大による影響に関する調査

Ⅶ. 業務への影響

・業務への影響について聞いたところ、回答のあった149社中、①「影響が続いている」が76社51.0%、次いで②「経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある」の54社36.2%、③「影響はない」の19社12.8%の順となった。

選　択　肢	社数	構成比(%)
①影響が続いている	76 (83)	51.0 (51.6)
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	54 (67)	36.2 (41.6)
③影響はない	19 (11)	12.8 (6.8)
合　計	149 (161)	100.0 (100.0)

※（　　）は前回調査の数字

Ⅷ. 資金繰りの対応について

・資金繰りの対応について聞いたところ、回答のあった149社中、②「資金繰りの相談は現時点で必要ない」が68社45.7%、次いで①「金融機関への相談を行なった」の51社34.2%、③「資金繰りに不安はあるが相談はしていない」の30社20.1%の順となった。

選　択　肢	社数	構成比(%)
① 金融機関への相談を行なった	51	34.2
② 資金繰りの相談は現時点で必要ない	68	45.7
③ 資金繰りに不安はあるが相談はしていない	30	20.1
合　計	149	100.0

Ⅸ. 相談した具体的な内容について

・相談した具体的な内容について聞いたところ、回答のあった51社中、①「希望する額・条件での新規融資を受けた」が40社78.4%、次いで②「既往債務の借換を行なった」が5社9.8%、④「相談・審査待ちの状況」が4社7.8%の順となった。

選　択　肢	社数	構成比(%)
①希望する額・条件での新規融資を受けた	40	78.4
②既往債務の借換を行なった	5	9.8
③既往債務の返済猶予等の条件変更を受けた	1	2.0
④相談・審査待ちの状況	4	7.8
⑤融資希望額より少ない額または短期間での返済となった	1	2.0
合　計	51	100.0

X. 来年度の雇用や採用関連の動きについて（複数回答）

・来年度の雇用や採用関連の動きについて聞いたところ、回答のあった149社（230件）中、⑭「該当なし」の84件37.0%が最も多かった。影響が見込まれる中では①「新卒採用（正社員）を縮小・見送る」の26件11.3%、次いで②「中途採用（正社員）を縮小・見送る」が24件10.4%、③「パート・アルバイト等（非正規社員）の採用を縮小・見送る」の23件10.0%の順となった。

選　択　肢	件数	構成比(%)
①新卒採用（正社員）を縮小・見送る	26	11.3
②中途採用（正社員）を縮小・見送る	24	10.4
③パート・アルバイト等（非正規社員）の採用を縮小・見送る	23	10.0
④派遣労働者の人数を縮小、労働者の派遣自体を見送る	9	3.9
⑤正社員の休業を実施	13	5.7
⑥パート・アルバイト等（非正規社員）の休業を実施	9	3.9
⑦派遣契約を維持した上で派遣労働者の休業を実施	0	0.0
⑧従業員の人員整理（整理解雇、雇止め等）を検討・実施	3	1.3
⑨雇用調整助成金の活用を検討している	7	3.0
⑩雇用調整助成金を既に活用し、今後も継続して活用を検討	18	7.8
⑪雇用調整助成金を活用したが、今後活用しない	3	1.3
⑫雇用調整助成金制度がわからない・これまで活用したことがなく、今後の活用も検討していない	7	3.0
⑬その他	3	1.3
⑭該当なし	85	37.0

○その他のコメント

・製造業

・パート等の人員は必要としているので募集を続けたいと思う【水産物製造・卸売業】

・優れた人材の確保、新規雇用の継続【金属製品製造業】

・小売業

・現時点ではかろうじて自己資本を回して経営しているが、状況によっては選択肢のいずれかを利用させていただくこともありえるかも【茶類小売業】

Ⅺ. 総括表

秋田県内中小企業景況調査
全産業別景気判断比較表（DI値）
（第4四半期：2021年1月～3月）

（▲マイナス）

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期（10～12月）		今期（1～3月）				前期（10～12月）		今期（1～3月）				前期（10～12月）		今期（1～3月）			
		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)
全産業	▲ 42.5	▲ 50.6	▲ 44.3	-1.8	▲ 32.9	11.4	▲ 44.2	▲ 54.0	▲ 49.7	-5.5	▲ 27.5	22.2	▲ 16.8	▲ 26.8	▲ 21.8	-5.0	▲ 17.8	4.0
建設業	▲ 18.8	▲ 37.5	▲ 26.7	-7.9	▲ 16.1	10.6	▲ 30.3	▲ 30.3	▲ 25.8	4.5	▲ 19.4	6.4	▲ 6.3	▲ 9.3	▲ 3.2	3.1	3.2	6.4
製造業	▲ 31.3	▲ 36.7	▲ 28.0	3.3	▲ 26.9	1.1	▲ 29.0	▲ 54.8	▲ 59.3	-30.3	▲ 3.7	55.6	▲ 6.2	▲ 25.8	▲ 19.2	-13.0	▲ 7.7	11.5
卸売業	▲ 64.5	▲ 64.5	▲ 53.9	10.6	▲ 33.3	20.6	▲ 61.3	▲ 67.8	▲ 51.9	9.4	▲ 29.6	22.3	▲ 32.3	▲ 35.5	▲ 44.4	-12.1	▲ 37.0	7.4
小売業	▲ 40.7	▲ 54.5	▲ 43.3	-2.6	▲ 43.3	0.0	▲ 41.2	▲ 73.5	▲ 51.4	-10.2	▲ 46.0	5.4	▲ 12.1	▲ 27.3	▲ 8.3	3.8	▲ 16.7	-8.4
サービス業	▲ 57.6	▲ 59.4	▲ 67.7	-10.1	▲ 42.0	25.7	▲ 58.8	▲ 44.1	▲ 61.2	-2.4	▲ 32.2	29.0	▲ 27.3	▲ 36.3	▲ 38.7	-11.4	▲ 32.3	6.4

	受注残（未消化工事高）						採算（経常利益）						従業員（含む臨時）					
	前期（10～12月）		今期（1～3月）				前期（10～12月）		今期（1～3月）				前期（10～12月）		今期（1～3月）			
		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)
全産業	▲ 45.3	▲ 46.7	▲ 34.5	10.8	▲ 17.8	16.7	▲ 41.8	▲ 45.6	▲ 36.0	5.8	▲ 34.5	1.5	▲ 22.6	▲ 16.4	▲ 16.6	6.0	▲ 17.9	-1.3
建設業	▲ 40.6	▲ 43.7	▲ 32.2	8.4	▲ 19.3	12.9	▲ 31.2	▲ 28.1	▲ 16.1	15.1	▲ 25.8	-9.7	▲ 40.6	▲ 28.1	▲ 35.5	5.1	▲ 38.7	-3.2
製造業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 37.5	12.5	▲ 16.0	21.5	▲ 25.0	▲ 41.9	▲ 28.0	-3.0	▲ 19.2	8.8	▲ 9.3	▲ 6.4	▲ 7.7	1.6	▲ 11.5	-3.8
卸売業	—	—	—	—	—	—	▲ 50.0	▲ 56.7	▲ 40.8	9.2	▲ 29.6	11.2	▲ 12.9	▲ 3.2	3.7	16.6	3.7	0.0
小売業	—	—	—	—	—	—	▲ 48.5	▲ 58.8	▲ 32.4	16.1	▲ 50.0	-17.6	▲ 25.0	▲ 21.2	▲ 24.3	0.7	▲ 16.2	8.1
サービス業	—	—	—	—	—	—	▲ 54.6	▲ 42.4	▲ 63.3	-8.7	▲ 42.0	21.3	▲ 25.0	▲ 21.8	▲ 13.4	11.6	▲ 23.3	-9.9

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。
：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（業種別比較表）

（第4四半期：2021年1月～3月）

1．今期の状況

業種＼項目		業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	10	63	76	21	35	97	9	100	42	5	26	24	15	66	69	15	96	40
	%	6.7	42.3	51.0	13.7	22.9	63.4	6.0	66.2	27.8	9.1	47.3	43.6	10.0	44.0	46.0	9.9	63.6	26.5
	DI	▲ 44.3			▲ 49.7			▲ 21.8			▲ 34.5			▲ 36.0			▲ 16.6		
建設業	実数	1	20	9	7	9	15	3	24	4	3	15	13	3	20	8	1	18	12
	%	3.3	66.7	30.0	22.6	29.0	48.4	9.7	77.4	12.9	9.7	48.4	41.9	9.7	64.5	25.8	3.2	58.1	38.7
	DI	▲ 26.7			▲ 25.8			▲ 3.2			▲ 32.2			▲ 16.1			▲ 35.5		
製造業	実数	4	10	11	3	5	19	0	21	5	2	11	11	3	12	10	6	12	8
	%	16.0	40.0	44.0	11.1	18.5	70.4	0.0	80.8	19.2	8.3	45.8	45.8	12.0	48.0	40.0	23.1	46.2	30.8
	DI	▲ 28.0			▲ 59.3			▲ 19.2			▲ 37.5			▲ 28.0			▲ 7.7		
卸売業	実数	1	10	15	3	7	17	0	15	12				3	10	14	4	20	3
	%	3.8	38.5	57.7	11.1	25.9	63.0	0.0	55.6	44.4				11.1	37.0	51.9	14.8	74.1	11.1
	DI	▲ 53.9			▲ 51.9			▲ 44.4						▲ 40.8			3.7		
小売業	実数	4	13	20	6	6	25	4	25	7				4	17	16	0	28	9
	%	10.8	35.1	54.1	16.2	16.2	67.6	11.1	69.4	19.4				10.8	45.9	43.2	0.0	75.7	24.3
	DI	▲ 43.3			▲ 51.4			▲ 8.3						▲ 32.4			▲ 24.3		
サービス業	実数	0	10	21	2	8	21	2	15	14				2	7	21	4	18	8
	%	0.0	32.3	67.7	6.5	25.8	67.7	6.5	48.4	45.2				6.7	23.3	70.0	13.3	60.0	26.7
	DI	▲ 67.7			▲ 61.2			▲ 38.7						▲ 63.3			▲ 13.4		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（業種別比較表）

（第4四半期：2021年1月～3月）

2. 来期の見通し

業種＼項目		業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未満化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	11	80	61	21	69	63	9	106	36	9	28	19	10	79	62	13	98	40
	%	7.2	52.6	40.1	13.7	45.1	41.2	6.0	70.2	23.8	16.1	50.0	33.9	6.6	52.3	41.1	8.6	64.9	26.5
	DI	▲ 32.9			▲ 27.5			▲ 17.8			▲ 17.8			▲ 34.5			▲ 17.9		
建設業	実数	3	20	8	4	17	10	4	24	3	6	13	12	2	19	10	0	19	12
	%	9.7	64.5	25.8	12.9	54.8	32.3	12.9	77.4	9.7	19.4	41.9	38.7	6.5	61.3	32.3	0.0	61.3	38.7
	DI	▲ 16.1			▲ 19.4			3.2			▲ 19.3			▲ 25.8			▲ 38.7		
製造業	実数	2	15	9	5	16	6	2	20	4	3	15	7	2	17	7	6	11	9
	%	7.7	57.7	34.6	18.5	59.3	22.2	7.7	76.9	15.4	12.0	60.0	28.0	7.7	65.4	26.9	23.1	42.3	34.6
	DI	▲ 26.9			▲ 3.7			▲ 7.7			▲ 16.0			▲ 19.2			▲ 11.5		
卸売業	実数	2	14	11	3	13	11	0	17	10				3	13	11	4	20	3
	%	7.4	51.9	40.7	11.1	48.1	40.7	0.0	63.0	37.0				11.1	48.1	40.7	14.8	74.1	11.1
	DI	▲ 33.3			▲ 29.6			▲ 37.0						▲ 29.6			3.7		
小売業	実数	3	15	19	6	8	23	3	24	9				2	14	20	1	29	7
	%	8.1	40.5	51.4	16.2	21.6	62.2	8.3	66.7	25.0				5.6	38.9	55.6	2.7	78.4	18.9
	DI	▲ 43.3			▲ 46.0			▲ 16.7						▲ 50.0			▲ 16.2		
サービス業	実数	1	16	14	3	15	13	0	21	10				1	16	14	2	19	9
	%	3.2	51.6	45.2	9.7	48.4	41.9	0.0	67.7	32.3				3.2	51.6	45.2	6.7	63.3	30.0
	DI	▲ 42.0			▲ 32.2			▲ 32.3						▲ 42.0			▲ 23.3		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査
地域別景気判断比較表（DI値）
（第4四半期：2021年1月～3月）

（▲マイナス）

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期（10～12月）	今期（1～3月）					前期（10～12月）	今期（1～3月）					前期（10～12月）	今期（1～3月）				
		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)
全県	▲ 42.5	▲ 50.6	▲ 44.3	-1.8	▲ 32.9	11.4	▲ 44.2	▲ 54.0	▲ 49.7	-5.5	▲ 27.5	22.2	▲ 16.8	▲ 26.8	▲ 21.8	-5.0	▲ 17.8	4.0
県北	▲ 34.8	▲ 52.2	▲ 46.9	-12.1	▲ 40.7	6.2	▲ 31.1	▲ 48.9	▲ 31.2	-0.1	▲ 37.5	-6.3	▲ 11.4	▲ 24.4	▲ 21.8	-10.4	▲ 15.6	6.2
県央	▲ 43.8	▲ 49.2	▲ 46.7	-2.9	▲ 31.8	14.9	▲ 60.3	▲ 55.6	▲ 62.5	-2.2	▲ 25.0	37.5	▲ 18.7	▲ 22.5	▲ 19.4	-0.7	▲ 16.1	3.3
県南	▲ 47.2	▲ 50.9	▲ 40.0	7.2	▲ 29.8	10.2	▲ 36.4	▲ 56.4	▲ 45.6	-9.2	▲ 24.6	21.0	▲ 18.8	▲ 33.9	▲ 24.5	-5.7	▲ 21.0	3.5

	受注残（未消化工事高）						採算（経常利益）						従業員（含む臨時）					
	前期（10～12月）	今期（1～3月）					前期（10～12月）	今期（1～3月）					前期（10～12月）	今期（1～3月）				
		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比		来期見通（1～3月）		前期比	来期見通	今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)
全県	▲ 45.3	▲ 46.7	▲ 34.5	10.8	▲ 17.8	16.7	▲ 41.8	▲ 45.6	▲ 36.0	5.8	▲ 34.5	1.5	▲ 22.6	▲ 16.4	▲ 16.6	6.0	▲ 17.9	-1.3
県北	▲ 52.9	▲ 41.2	▲ 25.0	27.9	▲ 16.6	8.4	▲ 31.8	▲ 42.3	▲ 37.5	-5.7	▲ 37.5	0.0	▲ 31.8	▲ 22.2	▲ 21.8	10.0	▲ 21.8	0.0
県央	▲ 28.0	▲ 33.3	▲ 36.4	-8.4	▲ 21.8	14.6	▲ 44.4	▲ 40.3	▲ 38.7	5.7	▲ 33.8	4.9	▲ 24.2	▲ 13.1	▲ 16.1	8.1	▲ 20.9	-4.8
県南	▲ 59.1	▲ 66.7	▲ 38.1	21.0	▲ 14.3	23.8	▲ 47.1	▲ 54.7	▲ 32.1	15.0	▲ 33.4	-1.3	▲ 13.2	▲ 15.1	▲ 14.0	-0.8	▲ 12.3	1.7

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。
：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第4四半期：2021年1月～3月）

1．今期の状況

業種＼項目		業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	10	63	76	21	35	97	9	100	42	5	26	24	15	66	69	15	96	40
	%	6.7	42.3	51.0	13.7	22.9	63.4	6.0	66.2	27.8	9.1	47.3	43.6	10.0	44.0	46.0	9.9	63.6	26.5
	DI	▲ 44.3			▲ 49.7			▲ 21.8			▲ 34.5			▲ 36.0			▲ 16.6		
秋田	実数	5	23	34	5	14	45	2	46	14	2	10	10	5	28	29	8	36	18
	%	8.1	37.1	54.8	7.8	21.9	70.3	3.2	74.2	22.6	9.1	45.5	45.5	8.1	45.2	46.8	12.9	58.1	29.0
	DI	▲ 46.7			▲ 62.5			▲ 19.4			▲ 36.4			▲ 38.7			▲ 16.1		
大館	実数	1	7	8	4	4	8	0	10	6	0	4	2	2	6	8	1	10	5
	%	6.3	43.8	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0	62.5	37.5	0.0	66.7	33.3	12.5	37.5	50.0	6.3	62.5	31.3
	DI	▲ 43.7			▲ 25.0			▲ 37.5			▲ 33.3			▲ 37.5			▲ 25.0		
能代	実数	0	8	8	3	4	9	2	11	3	1	3	2	1	8	7	1	11	4
	%	0.0	50.0	50.0	18.8	25.0	56.3	12.5	68.8	18.8	16.7	50.0	33.3	6.3	50.0	43.8	6.3	68.8	25.0
	DI	▲ 50.0			▲ 37.5			▲ 6.3			▲ 16.6			▲ 37.5			▲ 18.7		
大曲	実数	2	4	7	2	2	10	1	11	2	0	3	3	2	7	5	2	7	5
	%	15.4	30.8	53.8	14.3	14.3	71.4	7.1	78.6	14.3	0.0	50.0	50.0	14.3	50.0	35.7	14.3	50.0	35.7
	DI	▲ 38.4			▲ 57.1			▲ 7.2			▲ 50.0			▲ 21.4			▲ 21.4		
横手	実数	1	14	5	4	7	10	4	9	8	1	3	4	3	11	6	2	12	7
	%	5.0	70.0	25.0	19.0	33.3	47.6	19.0	42.9	38.1	12.5	37.5	50.0	15.0	55.0	30.0	9.5	57.1	33.3
	DI	▲ 20.0			▲ 28.6			▲ 19.1			▲ 37.5			▲ 15.0			▲ 23.8		
湯沢	実数	1	7	14	3	4	15	0	13	9	1	3	3	2	6	14	1	20	1
	%	4.5	31.8	63.6	13.6	18.2	68.2	0.0	59.1	40.9	14.3	42.9	42.9	9.1	27.3	63.6	4.5	90.9	4.5
	DI	▲ 59.1			▲ 54.6			▲ 40.9			▲ 28.6			▲ 54.5			0.0		

※　DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第4四半期：2021年1月～3月）

２．来期の見通し

業種＼項目		業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	11	80	61	21	69	63	9	106	36	9	28	19	10	79	62	13	98	40
	%	7.2	52.6	40.1	13.7	45.1	41.2	6.0	70.2	23.8	16.1	50.0	33.9	6.6	52.3	41.1	8.6	64.9	26.5
	DI	▲ 32.9			▲ 27.5			▲ 17.8			▲ 17.8			▲ 34.5			▲ 17.9		
秋田	実数	6	31	26	9	30	25	4	44	14	3	12	8	5	31	26	6	37	19
	%	9.5	49.2	41.3	14.1	46.9	39.1	6.5	71.0	22.6	13.0	52.2	34.8	8.1	50.0	41.9	9.7	59.7	30.6
	DI	▲ 31.8			▲ 25.0			▲ 16.1			▲ 21.8			▲ 33.8			▲ 20.9		
大館	実数	0	9	7	1	7	8	0	11	5	0	4	2	0	10	6	1	10	5
	%	0.0	56.3	43.8	6.3	43.8	50.0	0.0	68.8	31.3	0.0	66.7	33.3	0.0	62.5	37.5	6.3	62.5	31.3
	DI	▲ 43.8			▲ 43.7			▲ 31.3			▲ 33.3			▲ 37.5			▲ 25.0		
能代	実数	1	8	7	3	5	8	2	12	2	2	2	2	1	8	7	1	11	4
	%	6.3	50.0	43.8	18.8	31.3	50.0	12.5	75.0	12.5	33.3	33.3	33.3	6.3	50.0	43.8	6.3	68.8	25.0
	DI	▲ 37.5			▲ 31.2			0.0			0.0			▲ 37.5			▲ 18.7		
大曲	実数	0	8	6	1	8	5	0	12	2	0	4	2	0	10	4	3	7	4
	%	0.0	57.1	42.9	7.1	57.1	35.7	0.0	85.7	14.3	0.0	66.7	33.3	0.0	71.4	28.6	21.4	50.0	28.6
	DI	▲ 42.9			▲ 28.6			▲ 14.3			▲ 33.3			▲ 28.6			▲ 7.2		
横手	実数	3	14	4	5	10	6	2	14	5	3	3	2	3	11	7	2	12	7
	%	14.3	66.7	19.0	23.8	47.6	28.6	9.5	66.7	23.8	37.5	37.5	25.0	14.3	52.4	33.3	9.5	57.1	33.3
	DI	▲ 4.7			▲ 4.8			▲ 14.3			12.5			▲ 19.0			▲ 23.8		
湯沢	実数	1	10	11	2	9	11	1	13	8	1	3	3	1	9	12	0	21	1
	%	4.5	45.5	50.0	9.1	40.9	50.0	4.5	59.1	36.4	14.3	42.9	42.9	4.5	40.9	54.5	0.0	95.5	4.5
	DI	▲ 45.5			▲ 40.9			▲ 31.9			▲ 28.6			▲ 50.0			▲ 4.5		

※　DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

参 考

県内景況調査に対する各企業のコメント

Ⅰ今期の特徴（2021年1～3月）

1 建 設 業	
・完成工事または次年度に完成が延びた工事が多い【一般土木建築工事業】 ・受注がコンスタントに取れた【建築設計業】 ・今期は受注工事が少なく、採算はあまりとれなかった【土木工事業】 ・昨年12月の未成工事が減少し、今期の完成工事額が減少【塗装工事業】 ・暴風雪、災害復旧工事が増加した【一般電気工事業】	県央

2 製 造 業	
・首都圏の緊急事態宣言並びに延長により、業務用を中心に売上が減少した。寒さのために家庭向けの出荷は好調であったものの、業務用の売上減を補うほどではなかった【清酒製造業】 ・天候の悪さ、漁獲の不安定さ、コロナの影響で市況の悪さが重なっている状況【水産物製造・卸売業】 ・アパレルは全滅状態である【婦人服製造業】 ・首都圏の緊急事態宣言の影響により、県外営業ができない状況が長引いて受注の大幅な減少が続いている【印刷業】 ・１、２月が前年と比べ悪化した【印刷業】 ・首都圏の受注状況は、オリンピックが今年に延期された影響で、昨年同期と比較すると減少している【金属製品製造業】 ・先行き不透明感からか需給面で少し動きが悪く、価格も低迷【金属製品製造業】	県央
・家飲みが増加し、売上増加【清酒製造業】	県北
・コロナの影響で売上先の動きが止まっている【花火製造】 ・建築工事がなく、災害復旧関連の土木工事が中心のため、販売、利益、単価ともに低調となっている【コンクリート】	県南

3 卸 売 業	
・大雪とコロナで全体的に客数が落ち、売上にも影響している【繊物卸売業】 ・大雪が原因なのか1月の売上が悪すぎた【食肉卸売業】 ・良くも悪くも新型コロナウイルスの影響はない【その他の建築材料卸売業】 ・今期は雪の被害で販売店からの注文が多く、助かった【家庭用電気機械器具卸売業】 ・コロナの影響のほか、1～2月の悪天候により小売店、道の駅、温泉等の売上が昨年より2、3割悪化【その他の卸売業】	県央

4 小売業	
・3月より売上が好転している。セレモニー関連の商品はまだ低迷しているが、デイリー商品は気温の上昇とともに動き出した【婦人靴小売業】 ・コロナ対策での持ち帰り需要があり、今期は昨年より悪かった【食肉小売業】 ・専門店や百貨店の苦戦が続いている。ニューノーマル（新常態）になる？【茶類小売業】 ・大雪により売上が増加した【自動車部品】 ・県内では新型コロナウイルスの影響がほとんど無く、メーカーの商品改良等が相次いでいることから市場が活発化傾向にあり、商品の出荷遅れや販売価格の低下はあるものの、増収・増益となった【自動車小売業】 ・昨年の3月はコロナでキャンセルが相次いだ。今年は例年に近い状況。ただ。葬儀・結婚披露宴など大きな宴会等はないのでトータルではマイナス【花・植木小売業】	県央
・冠婚葬祭に関する注文菓子は激減だが、小売りが増えている【菓子製造販売】 ・コロナでも会社はコロブナ。がんばります【酒類販売】	県北
・売上が昨年比でマイナス9.4%【塗料販売】 ・増収・増益【燃料小売業】 ・大雪、コロナの影響で飲食店への酒類、おみやげ品の売上が減少。昨年より一層厳しくなっている【酒類・食料品小売】	県南

5 サービス業	
・顧客がコロナに対して不安感が強く、注文が減っている【普通洗濯業】 ・コロナ禍の影響により売上が伸びない【ビルメンテナンス業】 ・新型コロナ及び大雪の影響により、売上が減少。3月末決算は過去30年間で最大の赤字を計上する見込【運輸業】	県央
・新型コロナウイルスによる飲食の自粛が大きく響いている【食堂】	県北
・コロナの影響による売上減少【冠婚葬祭式場】 ・商品ごとの差が大きかった。今までは各商品で同じくらいの販売だったが、商品により売れるものと売れないものがあった。災害が多くて売上が伸びたものがあった【保険代理業】 ・大雪とコロナの影響で良くない【写真館】 ・コロナの影響で受注が減った【広告代理店】	県南

Ⅱ来期の見通し（2021年4～6月）

1 建設業	
・今期から延びる工事と新規工事が出て忙しくなる見込【一般土木建築工事業】 ・ 土地在庫の販売が売上に貢献する【建築設計業】 ・民間受注できたので少し良い【一般土木建築工事業】 ・受注する工事があっても完成する工事はないと思う【土木工事業】 ・年度末の補正予算に関わる公共工事発注が無い【塗装工事業】 ・設備修繕関連工事が中心となる見込【一般電気工事業】	県央
・比較的少額の工事が多い【建設工事】	県北

2 製 造 業	
・歓迎会、お花見、連休前の流通在庫の積み増しなどで荷動きが活発になる時期であるが、新型コロナウイルス接種も一部に留まり、状況の大きな改善は期待できない【清酒製造業】 ・昨年はコロナの影響をまともに受けたが、今年はやや冷静な状態となることを期待する【水産物製造・卸売業】 ・衣類は売れる気配がない【婦人服製造業】 ・良くなるように思えない【印刷業】 ・上半期は売上、受注量ともに伸びないとの情報が入っている(ゼネコン、各メーカーより)。その他、原材料価格も上昇してきており、不安がある【金属製品製造業】 ・先行き見通しが立たず価格低迷【金属製品製造業】	県央
・先行き不透明【清酒製造業】	県北
・コロナの回復次第でプラスにもマイナスにもなる【花火製造】 ・公共工事も終息となり、新規工事も小規模な物件が多く、好転の兆しが見えない【コンクリート製造】	県南

3 卸 売 業	
・昨年の4～6月がコロナで悪すぎたので、昨年よりはマシ。一昨年と比べると厳しい【繊物卸売業】 ・引き続き新型コロナウイルスの影響はない見通し【その他の建築材料卸売業】 ・コロナが落ち着いて人々が動くことを期待している【その他の卸売業】	県央
・配合飼料の高騰が予想され、さらに採算が悪化するものと思われる【鶏卵卸】	県北
・コロナウイルスと大雪の影響が続いている【機械工具卸売業】	県南

4 小 売 業	
・昨年はコロナの影響でこの期間中に休業もあり、売上は大きくマイナスした。そのため、まだ景気は回復していないが、昨対で売上は大きく伸びると思われる【婦人靴小売業】 ・ゴールデンウィーク中の売上が不透明【食肉小売業】 ・経済指標は上向いている部分もあるようだが前年より改善する要素が見当たらない【茶類小売業】 ・5月の連休に自動車が動けば売上増加も見込める【自動車部品】 ・レジャー関連商品が売れなくなる(キャンプ用品は別)【自動車部品小売業】 ・全国的に新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、メーカーの商品改良等でコンパクトカーを中心に市場が活発化しているものの、一部商品でメーカーの生産が逼迫していることに加え、半導体不足の影響から更に出荷遅れが予想されるが前年同期の売上を上回る見込【自動車小売業】 ・コロナ禍で昨年と同水準と予想される【花・植木小売業】 ・新メニューによる売上拡大を見込む【化粧品小売業】	県央
・先が見えない【酒類販売】	県北
・増収・減益を見込む【燃料小売業】 ・4月に薬価改定があるため売上減少を見込む【薬品小売】 ・6月くらいまでは依然としてコロナの影響が大きいと予測される【酒類・食料品小売】	県南

5 サービス業	
・コロナにつきる【リネンサプライ業】 ・今期と同様を見込む【普通洗濯業】 ・前年並に推移か【自動車一般整備業】 ・貸切バスの需要が急回復することは見込みにくく、当面は昨年並で推移するものと思われる【運輸業】 ・4月からの官公庁の入札物件に大いに価格の上昇を期待している【ビルメンテナンス業】 ・コロナの影響はない【中華料理店】	県央
・許認可を取得する測量であるため、新規の現場がなく、更新の現場となると測量費用が減少となるため、売上減少となる【測量設計】	県北
・コロナの影響が続くと予想される【冠婚葬祭式場】 ・コロナが落ち着くまで好転する見込がない【写真館】 ・見通しが立たない【広告代理店】	県南